

決済システムの整備に関する一般指針

銀行システム

中央銀行を中心に備えよ：中央銀行は通貨の安全に広く責任を有しており、マネーが有効な支払手段として利用されるよう整備する上で中心的な役割を担っている。

健全な銀行システムの役割を高めよ：エンドユーザが利用可能な決済口座、支払手段やサービスは主として銀行が提供しており、銀行は互いに競争する一方で、多くの場合一つの「システム」として協力する必要がある。

計画

複雑性を認識せよ：計画策定は、決済システムの全ての中核要素および決済システム整備に影響を及ぼし得る主要な要因についての包括的な理解に基づいて行われるべきである。

ニーズに焦点を当てよ：決済システムにおける全てのユーザの決済に関するニーズおよび経済の実力を把握し、それらに導かれるかたちで計画を策定すべきである。

明確な優先順位を付けよ：決済システムの整備は戦略的に計画し、優先順位を付けよ。

実施が鍵となる：戦略的計画の効果的な実施を確保せよ。

制度的枠組み

市場の発達を促進せよ：市場による仕組みの拡大・強化は、決済システムの発展のための重要な側面である。

関係者を関与させよ：決済システムに係る主要な利害関係者間の効果的な協議を促進せよ。

他の当局と協力せよ：中央銀行による効果的なオーバーサイトには、他の当局との連携体制が必要である。

法的確実性を向上させよ：決済システムのための、透明、包括的かつ堅固な法的枠組みを整備せよ。

決済インフラ

リテール決済ではより多くの人々により多くの選択肢を与えよ：インフラを拡張・改善することにより、エンドユーザが利用可能な、現金以外の支払手段・サービスの適用範囲および選択肢を拡大せよ。

大口資金決済ではビジネスケースが技術に優先する：大口資金決済システムは、主として金融市場のニーズや時限性の高い銀行間決済の増加に基づいて整備せよ。

証券システムと資金決済システムを結び付けて計画せよ：証券のためのインフラ整備と大口資金決済のためのインフラ整備を連携させよ。

リテール決済、大口資金決済、証券決済を連携させよ：コアとなるシステム間の決済プロセスを連携させて、相互に影響する流動性需要や決済リスクを効果的に管理せよ。